| 学校番号 | ３２９ |
|---|---|

# 令和８年度　音楽科

| 教科 | 芸術 | 科目 | (学)音楽演習２ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | MOUSA２（教育芸術社）　音楽通論（教育芸術社）　MUSIC　NOTE（啓隆社） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・幅広い音楽活動を通じて、音楽文化だけでなく、他の分野にも興味関心を持ち、人生を豊かに楽しむ力を養いましょう。
　音楽の多様性に興味を持ち、創意工夫して表現することを楽しみましょう。そのために基礎技能を身につけることも大切です。
　音楽を鑑賞するときに根拠を持って深く味わって聴くことを意識しましょう。
　すべての活動は、主体的・協働的に取り組むとき、楽しみも倍加します。
　世界中の音楽文化に親しみ生活や社会をより良く豊かなものにしていきましょう。

2　学習の到達目標

・幅広い音楽活動を通じて、生活や社会の中の音楽を音楽文化だけでなく、他の分野にも興味関心を持ち、音楽に関わる資質、技能を育成する。
・音楽構造や　それらの文化的歴史的背景、音楽の多様性に興味を持ち、理解を深め、自分なりに工夫した音楽表現を意識する。そのための基礎技能を育成する。
・いろいろな音楽に対して、根拠をもって評価しながら、深く味わって聴くことができる態度を育成する。
・主体的・協働的に音楽活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育て、感性を高めて、幅広い音楽文化に親しみ生活や社会を豊かなものにする感性と態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・曲想と音楽の構造や文化的歴史的廃棄などとの関わり、および音楽の多様性について理解している。<br>・個性豊かな音楽表現をするために、創意工夫を生かした音楽表現を意識し、必要な技能を身につけている。それらを歌唱　器楽　鑑賞　捜索で表している。 | ・音楽を形作っている要素やそれらの関連を知覚し、それらの働きを感受している。<br>・それらの働きと、関わりについて考える。<br>・創意工夫をもって、自身の表現意図を表すことができる。<br>・根拠に基づいて、音楽の美しさや独自性を自ら味わって鑑賞している。 | ・音楽活動に主体的・協働的に活動に取り組んでいる。<br>・音楽の諸活動に、目標をもって、目標達成のための取り組みを継続している。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| Ⅰ学期からⅢ学期 | 楽譜に基づき曲に応じた発声や表現を工夫しよう。 | ・ソルフェージュや楽典の知識をもとに、楽譜に書かれている様々な思いを読みとき、歌詞に込められた意図を表現しよう。<br>・曲にあった発声を工夫して表現しよう。 | a:曲の構造や歌詞その他の関わりおよび、表現効果について理解している。発声　発音などの基礎技能を身につけ表現している。<br>b:音楽の要素を感知しそれらの働きを理解する。自分の意図を持って表現することができる。<br>c:ソルフェージュや楽典の基礎的な知識を、表現に生かすように努力している。 | 観察<br>聴取 | 観察<br>聴取<br>ト | 観察<br>聴取<br>振り返り<br>シート |
| | 日本の音楽の特徴を学び、三線の演奏に挑戦しよう。 | ・日本の伝統芸能と日本音楽の特徴を知ろう。<br>・三線の演奏に挑戦しよう。<br>・歌舞伎・文楽・能狂言について、親しもう。 | a:　日本の伝統芸能について、自ら調べ、興味をもった分野について調べる。三線の基礎的な演奏方法を理解している。<br>ｂ：日本の伝統芸能の総合的な要素を感じて根拠を持って説明することができる。三線の曲を弾き歌うことができる。<br>ｃ：日本の伝統芸能に関して、レポートを仕上げるためのプランを立てて締め切り日までに遂行できる | 観察<br>レポート<br>聴取 | 観察<br>聴取<br>発表 | 観察<br>聴取<br>計画表<br>進行表 |
| | 創作しよう。コードネームをもとに、伴奏を工夫しよう | ・身近なメロディをもとに音楽の要素を工夫し曲の表情や雰囲気を変える。<br>・メロディに音を加え和声も意識しコードネームを意識する。<br>・創作したものに、伴奏をつけて発表しよう。 | a:創作をするために必要な基礎を理解し変奏や編曲をする技能を身につけている。<br>ｂ：音楽の諸要素を理解しどのように創作するか独自の表現意図をもって表現することができる。<br>ｃ：変奏　編曲に興味を持ち主体的に創作活動に取り組む。 | 観察<br>聴取 | 観察<br>聴取 | 観察<br>聴取 |
| | 日本や諸外国の歌曲に親しもう。 | ・いろいろな言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解する。<br>・曲にふさわしい発声や言葉の発音、体の使い方などの技術を身に着けよう。<br>・表現を工夫しよう。 | a:曲の特性にあった歌い方を自分で考え理解して歌おうとしている。<br>b:曲の特徴や演奏に対する評価をその根拠とともに考え味わって鑑賞する。<br>c:様々な国の歌曲の相違点、共通点を意識して根拠をもって、表現しようと主体的に取り組んでいる | 観察<br>聴取 | 観察<br>聴取 | 観察<br>レポート |

※令和４年度以降入学生用

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| | 映画やオペラを鑑賞し、歌ってみよう。 | ・音楽と映像との結びつきや、心情がどのように表現されているかを考えながら鑑賞し、実際に歌ってみよう。 | a:音楽の構造、特徴　他の芸術とのかかわりについて理解を深めている。<br>b:自分の中で曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽を深く味わって聴いている。<br>C：曲想やテーマに文化的歴史的その他とのかかわりに関心を持ち取り組んでいる。 | 観察<br>聴取 | 観察<br>聴取 | 観察<br>聴取 |
| | ギターを演奏し、他の楽器とアンサンブルしよう。 | ・ギターの音色や表現の特徴を味わう。<br>・いくつかの奏法を身につけ表現の幅を広げる。<br>・自分で音色や表現を工夫して演奏する。<br>・アンサンブルで自分のパートの役割を意識しより良い表現につなげる。ギター以外のアンサンブルの効果について考えよう。 | a：・曲想とギターの音色　奏法の関わり、表現上の効果について理解している。その表現のための技能を身につけている。<br>b：音楽の諸要素を感じ、それらの働きを意識して独自の表現意図を持っている。<br>c：以上に関心を持ち、主体的　協働的に学習に取り組もうとしている。 | 観察<br>聴取 | 観察<br>聴取 | 観察<br>聴取<br>レポート |
| | 作曲家の生涯と作品をたどろう | ・フレディリック　ショパンにスポットを当て、時代　文化的背景を含めて音楽作品について理解し鑑賞する。 | a：学習内容について理解を深めている。<br>ｂ：音楽史の中の位置づけと音楽の諸要素を感じて、理解し曲や演奏に対して根拠をもって評価し鑑賞している。<br>ｃ：主体的協働的に、深く学習に取り組もうとしている。 | 観察<br>レポート<br>発表 | 観察<br>レポート<br>発表 | 観察<br>レポート<br>発表 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度